

大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

6月号



全力全開 大俣っ子パワー!!

5月28日(日)、好天に恵まれ、久しぶりに来賓をお招きし、人数制限のない運動会を開催することができました。保護者や地域の皆様からの声援、応援のおかげもあり、子どもたちは運動会で全力を尽くすことができました。ありがとうございました。

オープニングを飾ったミュージック・ラボは、休み時間や放課後に練習を重ね、素敵なパフォーマンスを披露してくれました。

個人種目の「はしれ!ハシレ!走れ!」「80メートル走」「100メートル走」では、どの児童も自分の持てる力を精一杯出して走りきることができました。同じく個人種目、3・4年生「きょうのオオタニサン」は、走力だけではなく運が左右する競技で楽しませてもらいました。5・6年生「Let's run together」におきましては、来賓・保護者の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。

1・2年生の団体種目「チェッコリ玉入れ」、表現「Pecori♡Night」は、低学年のかわいらしさがいっぱいでした。3・4年生の「激突!大俣トルネード」は、まさに「激突!」しそうなくらいの接戦で、手に汗を握りました。5・6年生「本気リレー」は、ドリブルや縄跳びなどの技をしながらのリレーでした。様々な技にチャレンジする姿は、他の学年の手本となるものだと感じました。また、保護者との対抗戦、6年生の「いろんなものとり合戦」は、保護者の皆様の力強さに悔しさを覚えたようでした。

ふれあい班種目「綱引きワールドカップ」「ラン・ザ・フィナーレ」は、6年生を中心に並び方やバトンの渡し方、綱の引き方などを話し合い、班ごとに練習を重ねました。

競技だけでなく、入場行進、開会式・閉会式等で、6年生が自分の役割を考え、行動できたことも、運動会という行事のすばらしさだと思います。

運動会で感じたこと、思ったこと、学んだことを今後の学校生活に活かしてほしいものです。



予測困難な時代に生きる子どもたちに

本校では、学習・生活両面、数々の取組を通して「気づき・考え・行動し、話し・伝える児童」の育成を目指しています。学校という学び舎で様々な経験を積んだ子どもたちが「学ぶ力」や「考える力」を育み、将来に役立つ力の素地を身に付けてほしいと思います。子どもたちが生涯にわたって学び続け、考え続け、大人になったときに自分自身の人生を、楽しく生きていくことを願っています